

SCが進める春を中心としたリニューアル実施店舗一覧

(表の見方 ①オープン年月、②運営会社・ディベロッパー

③面積〈店舗面積・売場面積・延床面積・総賃貸面積〉④リニューアルの内容・特徴)

■京都ポルタ 統合1周年を機に大規模改装

①2～5月にかけて順次オープン②JR西日本京都SC開発③店舗1万5500㎡④京都駅前地下街ポルタと京都駅ビル専門店街ザ・キューブが統合して1周年を迎えたのを機に改装に踏み切り、新店19店、移転・改装19店の計38店舗を一新。対象店舗はファッション衣料17店、ファッション雑貨10店、飲食6店、コスメ4店など。併せて館内環境もリニューアルし、ミレニアル世代に加えZ世代など、より幅広い客層から支持される施設を目指す。

■天王寺ミオ ファッション関連中心に50店舗リニューアル

①2～4月にかけて順次②JR西日本SC開発③店舗約3万9000㎡④“リアルならではの「ワクワク」を提供する「私のミオ」”をテーマに、ファッションに関心が高い女性に向けたショップを中心に約50店舗リニューアル。本館6階に老若男女問わず人気のあるキャラクターショップも拡充。

■あべのキューズモール 集い、寛げる屋外空間「キューズガーデン」誕生

①3月から順次、7月までにオープン予定②東急不動産/東急不動産SCマネジメント③総賃貸約6万9000㎡④7月に4階飲食フロアの屋外空間「ガーデンエリア」が「キューズガーデン」に生まれ変わる。キューズガーデンには人工芝や築山を新設。イベントも開かれ、テラス席で食事を楽しめるなど、子供から大人まで集える場となる。店舗リニューアルでは食関連・生活雑貨の店舗を拡充する。

■あまがさきキューズモール 2階エントランスが交流・休憩できる広場に

①2月から順次、4月末オープン予定②東急不動産/東急不動産SCマネジメント③総賃貸約5万㎡④4月にJR尼崎駅からデッキで直結する2階エントランスが改修され「きゅ～ずまえ」が誕生し、ビッグテーブルやベンチを配置し憩いの広場に。店舗のリニューアルでは新店が6店舗加わる。スターバックスコーヒーは席数が約3.2倍に、面積は1.8倍に広がる。

■東急プラザ新長田 開業10周年を契機に初の改装に着手

①23年11月～24年秋頃までに順次オープン②東急不動産/東急不動産SCマネジメント③総賃貸約1万㎡④開業以来の地域密着型を貫き、新長田駅周辺の中心的施設を担う「ワンエリア型の商業施設」として、今回の初改装で新店5店舗、増床・移転4店舗を実施予定。館内共用部も改装してレストスペースなどを拡充。1階を大型区画にして無印良品、ABC-MARTなどを展開。

■KUZUHA MALL 1年掛かりのリニューアルでダイニングストリート完成

①3月22日グランドオープン②京阪流通システムズ③店舗約7万2000㎡④食の拡充を軸に改装を進め、23年4月に食のマーケットゾーンの新エリア「フードマルシェ」をオープン、同年12月にはオープンモール型のレストラン街「ダイニングストリート」を“緑あふれる気持ち良い空間”をコンセプトに改装し、植栽やテラス席を整備した。そして今回ダイニングストリートリニューアル第2弾として、商業施設初出店や京阪沿線初出店を含む9店舗（新規5店舗・改装4店舗）を加えた。

■パークスガーデン 1期・2期の大改装で屋上庭園を一新

①第1期23年11月、第2期は4月26日にグランドオープン②南海電鉄④大型複合商業施設「なんばパークス」(店舗約5万1800㎡)の屋上庭園で、9階までの段丘になっており、約500種類・10万株の植物が茂る。「タッチングネイチャー」をリニューアルコンセプトに「人と自然がもっと近づき、五感で自然を感じられる」空間を創り上げるため、23年11月の1期で4エリア改装。今春の第2期では3エリアが対象で、4階と7階東側に新たな植栽エリアを設け、パークスガーデンを最も象徴する場所となるような、空を全身で感じられる大きな丘の広場を8階に新設する。

■須磨パティオ 2000年以来24年ぶりの全面リニューアル

①24年秋②こうべ未来都市機構③店舗約1万6700㎡④「リノベーション・神戸」の名谷活性化プランの一環として全面改装。改装のポイントは①フードコートの開設などで食をパワーアップ②ブック&カフェ、親子カフェ、キッズスペース開設などで子育てサポート充実③シェアキッチン、チャレンジショップ開設などで集い・憩いの場の創出④多様なライフスタイルを満たす豊富な店舗集積とショップ巡りが楽しくなる空間づくり⑤パティオを中心にさらなる回遊性の高さ発揮。

■tete名谷 第1期の北ゾーンに続き、第2期で南ゾーン開業

①24年度中②JR西日本アーバン開発④神戸市営地下鉄名谷駅に開発される駅ビル。23年6月の第1期で北ゾーン開業。「働く・学ぶ・交流する場」となる北ゾーンは1~3階にテナントを集積、屋上広場も開設した。第2期で開業する南ゾーン1、2階には食物販や飲食店、雑貨などの店舗を導入する計画。tete名谷も「リノベーション・神戸」の一環となる名谷活性化プランに基づくもの。

■阪急西宮ガーデンズ 開業以来3度目の大規模改装、45店舗を一新

①3月から順次オープン②阪急阪神不動産/阪急阪神ビルマネジメント③総賃貸本館約10万7000㎡(ほかの3館を合わせた4館合計で12万5400㎡)④リニューアルの対象となる45店舗のうち、関西初、新業態の店舗を含む28店舗が新規オープン、17店舗が改装・移転となる。また、本館内4カ所のベビールームを阪急電車をモチーフに、利用しやすく改装。本館4階スカイガーデンの東側部分もリニューアルし、人工芝とベンチを設けて親子の新たな憩いの場所に転換。

■イオンモール太田 増床棟新設しフードコート移設拡充、既存棟は改装

①4月19日増床リニューアルオープン②イオンモール③総賃貸約7万6000㎡(増床後)④西側平面駐車場に2階建てのウエストモールを新設し、2階に県内最大級のフードコート(15店舗・約1100席)と、地域の人が集える屋外交流拠点「みらいガーデン」をオープン。ウエストモールと既存棟を合わせ全体(増床後約185店舗)の50%、93店舗が新規・移設・改装によって刷新される。

■イオンレイクタウン 今春、アウトレットが増床で40店舗加わり全160店舗に

①23年春、24年春・秋、25年春・秋②イオンモール③総賃貸「kaze」約6万1000㎡・「mori」(約9万9000㎡)・「Lake Town OUTLET」(増床で約7000㎡増え約3万㎡)、合計で約19万㎡④kaze、mori、レイクタウンOUTLETの3館を対象に約3年間に亘る段階的リニューアルを実施。今春はレイクタウンOUTLETが駐車場として使用していた場所に2階建ての増床棟を新設し、3月29日増床リニューアルグランドオープン。顧客から要望が多い国際ブランドやライフスタイル提案型ブランドなど、増床棟、既存棟合わせて新規34店舗を含む64店舗を刷新。増床後のアウトレットの全店舗数は約140店舗。“もっと気軽に、もっと身近に”ブランドショッピングを楽しめる施設に。Kazeは今春、新規8店舗を含む32店舗、moriは新規16店舗を含む38店舗が刷新される。

■イオンモール幕張新都心 幕張豊砂駅と直結した「エキマエ」をさらに増強

①3月20日（第3期）②イオンモール③総賃貸約12万8000㎡④幕張豊砂駅の開業に合わせ約2年掛かりの大規模リニューアルが始動。23年4月の第1期で駅から直結の屋根付き遊歩道を新設、建物外観も未来型国際都市にふさわしいデザインに刷新。23年9月の第2期でファミリーモールの棟名称を「エキマエ」に変更。第1期、第2期合わせて新規38店舗を含む計76店舗をリニューアル。今回の第3期では、新規21店、移転・改装10店の計31店舗が順次リニューアルオープン。そのうちエキマエには新店舗だけでも13店が導入された。エキマエコートはエシカルをテーマに刷新し、エキマエ3階スカイパークには新たに円形のベンチを設置。アクティブ棟前南平面駐車場には顧客の要望に応え、風を感じて走ることができるゴーカートサーキット場を導入。

■そよら成田ニュータウン 成田空港拡張見据え、ボンベルタ成田を大改装

①今夏②イオンリテール/ボンベルタ③賃貸3万3623㎡（うちアネックス館1万1284㎡）④イオンリテールとボンベルタの合併契約締結（24年3月1日）に合わせ、両社で大規模リニューアルを始動させ、そよら成田ニュータウンを誕生させる。「集う・通う・繋がる“成田の文化発信の拠点”」をコンセプトに掲げ、29年に予定される成田空港の拡張を見据え、地域に住んでいる人々に加え、訪日観光客も含めた地域交流の中心となる商業施設に刷新する。核店舗のイオンスタイルはフード&ドラッグの店として食品と調剤薬局を併設したヘルス&ビューティケアの売場を展開。

■イオンモール宮崎 今春から秋にかけて約80店舗を刷新する大規模リニューアル

①3月22日から順次リニューアルオープン②イオンモール③賃貸約8万4000㎡④今春の第1期で67店舗（新規24店・移転17店・改装26店）、24年夏・秋の第2期で10店舗（新規3店舗・移転3店舗・改装4店舗）を刷新。ほかに子供の遊び場の増設、館内レストスペースの新設、駐車場を活用したサウナ施設「SAUNA PARKING」の導入などを行う。

◆横浜ワールドポーターズ 今春と今夏の大規模改装で“超エンタメモール”へ刷新

①4月26日（第1期）②イオンモール/横浜インポートマート③賃貸約3万7700㎡④第1期で37店舗（新規16店・移転11店・改装10店）、今夏の第2期で31店舗（新規25店・移転3店・改装3店）を一新する大改装。第1期で2階に「エンタメキャラクターワールド&ライフスタイルグッズ」ゾーンを設置してスーパーニールの展開を強化し、3階に「カジュアルストリート」ゾーンを配置。第2期では、1階に約500席の「ワールドフードホール」を導入し、「Hawaiian Town」の約120席と合わせ約620席のみなとみらいエリア最大級の飲食ゾーンが誕生する。施設関連ではトイレ・パウダールームの改善、建物外観デザインの刷新、駐車場にはスムーズに出庫できる車番認証システムが導入される。

■渋谷スクランブルスクエア 開業後最大規模のリニューアル実施

①3月1日②渋谷スクランブルスクエア③延床約18万1000㎡（東棟）④「エキウエ2.0」をコンセプトに、9階には豊富な観葉植物と圧倒的なバリエーションの鉢を揃えた「植物と暮らす」がコンセプトの園芸店「garage SHIBUYA」（渋谷初出店）、アウトドアショップ「A&F COUNTRY」とアウトドアシューズ&アパレルブランド「MERRELL」（共に国内最大面積）が登場。

■テラスモール湘南 誰もが快適で心地よいサードプレイスをさらに追求

①2~4月下旬までを中心に、7月までにオープン②住商アーバン開発③店舗6万3000㎡④「湘南と。」を新ステートメントとして制定し、フードコートの客席改装（小上がり席新設）、子供達が遊べる「キッズテラス」「ピクニックテラス」も環境を改善して子育てファミリーに優しく、誰もが快適に過ごせる施設を目指す。リニューアル対象店舗は40店舗（新店26店・改装14店）。

■ミウイ橋本 駅直結の優位性と施設全体の集客力・回遊性アップ狙う

①23年春~24年冬までの4段階②住商アーバン開発③店舗1万3946㎡④「Catch&Circulation!」をコンセプトに、2~4階を重点的に改装し、駅直結の立地のポテンシャルの最大化、施設全体のトレンド性、集客力、回遊性の強化を図る。23年春の第1弾と秋の第2弾で2、3階に新店舗導入、24年春の第3弾で4階に集客の核となる店舗を配置、24年冬の第4弾でライフスタイル提案型のサブ核となる店舗を誘致する計画。

◆新越谷ヴァリエ デイリーに使える利便性の高い駅直結の駅ビルに

①4月26日（第I期エリア）②東武鉄道③店舗約5998㎡（第I期エリア）、全体で約1万2160㎡④第I期エリアの2、3階をリニューアル。従来の小規模ファッション専門店中心のフロア構成を見直し、利便性と集客力を見込み、ライフスタイル、デイリーサポートカテゴリーの強化に出る。そのキーテナントとして2階にジュー、3階にユニクロとABC-MARTを導入。そのほか第I期エリアで16店舗刷新。3階には越谷アルファーズ（国内男子バスケットボールリーグ「Bリーグ」所属）と協業してシーティングスペースを設置。今冬に第II期エリアのリニューアルを予定している。

■柏高島屋ステーションモール S館、新館、本館を対象に15年ぶりの大規模改装

①23年秋・24年春・24年秋②東神開発③店舗5万500㎡④23年9月のS館5階のユニクロオープンを皮切りに、今春は専門店ゾーン（S館・新館）に27店舗（新規15店、移転・改装12店）、百貨店ゾーン（本館）に4店舗（新規3店、改装1店）、合わせて31店舗がオープンする。S館1階にディスカウントスーパーのオーケーが柏市に初出店。加えてS館2階にはイートインカテゴリー店舗がオープンし、百貨店と合わせ約1900坪となるエリア最大級の一大食品ゾーンが誕生する。今秋には新館10・11階に東神開発が運営するコミュニティスペースがオープン予定。

■シャポー小岩 東京側エリアの改装工事が完了し30店舗オープン

①3月25日②ジェイアール東日本都市開発③約6200㎡（うち約2100㎡が改装エリア）④改装に伴い23年3月から東京側エリアを閉館して進めてきた改装工事が完了し、同エリアに既存の15店舗と、スイーツ・ファッション・飲食・サービスなど新規の15店舗を合わせ30店舗がオープンする（館全体では全74店舗）。「わたしたちの商店街」をコンセプトに、東京側エリアに“ぶらぶらお買い物を楽しむ遊歩道”と“覗いて楽しい石畳のお買い物もの道”を設け、東西に約300m続く細長い館内の風景に変化をもたらす趣向。

■エキュート赤羽 赤羽駅南口駅構内にもエキナカ商業施設拡大

①24年夏以降に全面開業②ジェイアール東日本都市開発③店舗約2943㎡（既存約1663㎡、みなみゾーン約1280㎡）④乗り換え利用の多い赤羽駅のニーズに対応してエキナカを南口駅構内にも広げ、みなみゾーンに日々の食を支えるグロスアリー店舗、隙間時間や通勤時のひと時に利用できるカフェ、乗り換えついでに食事ができる選べる飲食ゾーンなどに11店舗を配置（既存を合わせると計48店舗）。

■アトレ亀戸 増築棟建て、さらに利便性高い館を目指す

①今秋増床リニューアルオープン②アトレ③店舗約 9496 m²④「日常をちょっと上質により便利に“one-stop shopping”」をテーマに増床改装を実施。亀戸駅前バスロータリー側に増築棟を建て、食品、軽飲食、サービスなどを拡充。増床により延床面積が約 3 万 3100 m²から約 3 万 6000 m²に拡大。

◆アミュプラザ長崎本館 本館 1 階に長崎最大級の「食品フロア」が誕生

①3 月 1 日②JR 長崎シティ③店舗面積約 2 万 4000 m²④過去最大級となる今春のリニューアルで本館 1～3 階に 36 店舗をオープン。特に本館 1 階には長崎初出店や新業態を含む 24 店舗が加わり、惣菜ゾーンをはじめグロッサリー、ベーカリーショップなど、長崎最大級の食のフロアが誕生した。惣菜ではグリーン・グルメ、やきとり鶏むら、おこわのたごさくなどが長崎初出店。

◆MARK IS みなとみらい 大型シネコン誕生で 10 周年リニューアルグランドオープンへ

①4 月 26 日②三菱地所プロパティマネジメント③店舗約 4 万 3000 m²④開業 10 周年を機に開業以来最大規模の改装を実施。“なんか心地いい”をテーマに、着工して 40 年経ったみなとみらい 21 エリアの街と環境の変化に対応して 23 年 6 月に生鮮と食品スーパーを拡充した「食品館 まいにちマルシェ」をオープンして食品フロアを一新したのをはじめ、全館 175 店舗のうち今春の 3、4 月含め約 35 店舗（新規・移転・改装）を一新して、館がもたらす心地良さを一段と追求した。4 月 26 日の大型シネコン「ローソン・ユナイテッドシネマ STYLE-S みなとみらい」（12 スクリーン、全 1050 席）のオープンで 1 年超をかけた 10 周年大改装が完成となる。